

「結果は経過を正当化する」という考え方に皆さんはどう思いますか？

「結果は経過を正当化する」または「結果と経過はどっちが大事」について考えておきましょう。

「結果は経過を正当化する」という考え方に皆さんはどう思いますか？

「結果と経過はどっちが大事」については皆さんどう考えているのでしょうか？

結論から言いますと時と場合によって変わりますが、「介護業務」については「経過こそが大事」です。

オリンピックも今回の新型コロナへの対応の場合も「経過が大事」です。それは後悔しない事こそが一番大事だからです。

オリンピックの場合は「参加することに意義がある」と言いますので分かり易いですね。勝ち負けも大事ですが**もっと大事なことがある**という意味です。

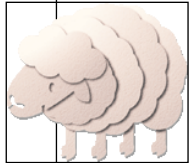
新型コロナ感染予防対策についても同じです。完璧には防げないかも知れないけれども、万が一入ってしまったら、**後で後悔しないくらいに精一杯頑張る**しかなく、結果を受け入れるときは甘んじて受け入れましょうということです。これを諦観の境地と言います。

オリンピックでも、結果を甘んじて受け入れられるためには他人の想像を絶するような努力が選手には必要でしょうしその過程では勝利と言う結果を目指すでしょう。経過こそが大事と言うのはその努力を指します。

かつて民主党政権時代の事業仕分けの時に蓮舫議員がスーパーコンピュータ事業の在り方について ”なぜ世界で1位でないとダメなんですか。何故2位ではいけないんですか” と詰め寄りひんしゅくを買いましたが、結果と経過の違いを混合していた言葉遊びの良い例でした。目指すそこにこそ意味がありそしてその時は結果も付いてくるからです。オリンピックも新型コロナ対応も介護業務も、その意味で同じです。

青春時代は懐かしいものですが、青春時代のその真ん中は胸にトゲ刺すことばかり、と必死にあがくのと同じような意味ではないでしょうか。

私たちの介護業務も、後で後悔しないように、私たちの理念のもと、理想の介護を目指して日々工夫しながら努力を忘れないように致しましょう。

<p>老人保健施設一羊館の理念</p> <p>利用者の方々すべてに尊敬・安心・満足を！</p> <p>一羊館の行動指針</p> <p>私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。 私たちは、利用者の QOL・職員の QOL・健全経営の3立を目指します。 私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。</p>	
<p>話合いの3原則：</p> <ul style="list-style-type: none">①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。③正解は一つではないことを自覚して自制します。	